

- 各学校へのお願い 『職員室掲示用』として教職員の皆様に周知していただければ幸いです。(年4回発行予定)

# つばさだより



こんにちは！新年度に向かって、子どもの良さや苦手の発見を重視した学級づくりはとても大変なことだと思います。おっちょこちょい、わすれっぽい、運動が苦手、話をするのが苦手、話を聴くのが苦手、読み書きが苦手、空気を読むのが苦手……。子どもの特徴をきちんと押さえ合い、その苦手を乗り越えていく学級づくりの構想や計画をみんなで考えましょう。今年度の最終号をお届けします。

第4号  
発行日：平成22年3月15日(月)  
発行者：稚内市学校適応指導教室  
稚内市教育相談所  
◆HP：<http://www.google.co.jp/>  
◆メール：[wks@wakkanai.info](mailto:wks@wakkanai.info)  
TEL・FAX (0162) 24-4320  
子育て電話相談 (0162) 24-4402  
フリーダイヤル 0120-085-415

## 21年度 つばさ学級の一年



4月、3名で始まった学級に、6月に1名、10月に1名が加わり、5名の通級生と共にこの1年を過ごしてきました。今年度は、スポーツが得意な若者が補助員として加わり、楽しい会話やゲーム・調理などでも、子供たちに親しまれています。通級生の姿勢に応じて出来ることから取り組んでいます。

### ①日々の学習で基礎学力をつけよう！

学年、個々人の進度によって学習内容は異なります。基礎学力は積み重ねていくように努力しています。学校の定期テストに取り組むことができた生徒もいます。学校に行ってみようと思えるようになるには、学習に対する自信を持つことが大切だと思います。子供たちがやってみようとする気持ちを大切にしています。

### ②季節の行事を楽しもう！

お花見・フレンドリーパーティー・歓迎会・クリスマス会・節分(恵方巻き作り)などで、調理実習を行い、自分たちで作って、一緒に食事する機会を多くしました。家庭であまり経験していないことでしたが、回を重ねる毎に、自信を持って作業が出来るようになっていきます。後片付けで自分に何が出来るか、考えて行動する姿が見られます。皆でトランプをしたり、手品の出前披露もあり、楽しむことが出来ました。

### ③体育日をつくり、週1回総合体育館へ行こう！

委員会のバスで7回体育館に行き、バドミントン、ミニバレー、バスケットをしました。異年齢ですが、思い切り動いて汗を流しました。普段は卓球をしたり、キャッチボール、サッカーを近くで行うこともありました。抜海の海でかき取りをしたり、足湯や、百年記念塔までの散歩もしました。体力作りにもなっています。(インフルエンザ流行で中断・・・残念)

### ④学校との連携で、登校を試みる！

学校とつばさ学級との連絡を密にして、登校する機会を増やしています。担任の先生や校長先生、特別支援の先生やクラスの友達の訪問も何度もありました。そのことがあって、教科によって授業に参加したり、給食を食べたり、体育館で運動して来るなど様々な形で、受け入れていただいています。その試みは、子どもにとって、とても勇気が必要です。学校に行くことは、怖いことになっているからです。受け入れる学校も大変だと思います。温かい目で見ていただき感謝しています。

### ⑤卒業・進級をお祝いしよう！

卒業と進級を祝う会を、行う予定です。それぞれ新たな道に一步を踏み出します。ここでの出会いを力にしていけるように、これからも見守っていきます。

## 第五回適応指導委員会を終えて

この一年の活動 ありがとうございます m( )m

今年度の適応指導委員会では、毎回、各学校の状況を交流しました。また、東小学校・中央小学校の支援実践に学び、つばさ学級の活動報告を行うなどの交流を行ってきました。

最終回では、今後の課題についても話し合いました。つばさ学級に通う子どもがいる学校にとっては、「委員会」の活動が身近ですが、つばさとのつながりがない学校にとっては、切実な活動ではないし、全体の問題として考える活動にはなっていないようです。問題が起こった時に、今までの経験を生かし切れしていないこと。つばさに通えていない子供たちが数多くいますが、支援の対策を交流したり学び合っていないことなどが出されました。

子どもたちが生き生きと学校生活を送るために、人生に希望を抱く力をつけるために、人と人との結びつきを作っていくことが大切だと思います。不登校の子どもが置かれている状況は、たいへん複雑です。家庭環境の困難さや、発達障害、いじめや差別など、簡単に解決できないことが重なっていることも多いです。どのような支援が必要か、どのような連携が有効か学びあっていかなければなりません。つばさ学級は、子供たちが安心できる居場所として、保護者や学校関係者が、安心して話し合える場所としてもっと身近な存在になれるように努力していきたいと思っています。

## 全道不登校連絡協議会に参加して

稚内市学校適応指導教室 指導員 坪内 直美

2月19日(金)札幌において14支庁80名の参加で、活動の交流がありました。年齢に応じたコミュニケーション技能を育てる重要性についての講演と30例の実践レポートのグループ討議でした。個々の例は違いますが、保護者・学校・関係機関のきめ細かな関係づくり、信頼関係が築かれる中で、子供たちは動き出せることが共通しています。色々な取り組みを参考にして次年度に生かしたいものです。



たくさんのご支援ありがとうございました。  
これからもご協力よろしくお願いたします。  
気軽にお越し下さいますように！😊